

令和4年度 第2回 学校運営協議会 議事録

概要

日 時 令和4年11月18日(金) 午後7時～8時30分
会 場 藤井寺工科高等学校 同窓会館2F会議室
参加者 (委員) 井関委員 佐藤委員 重尾委員 富委員
(事務局) 准校長 教頭 事務主査 教務部長 支援教育コーディネーター
SSC

配布資料

- ・令和4年度学校運営協議会 次第および資料1～2

内容

1. 開会挨拶(准校長より)
2. 学校行事および部活動などの報告(教頭より)
新型コロナウイルスが落ち着いてきて、行事に活気が戻ってきた。
3年生は沖縄への修学旅行、藤工フェスティバルは保護者を招いての開催ができた。
3. スクールミッションについて
本来は教育庁が作成するもの。
意見を反映しても変更する可能性がある。
5. 学校見学
3年生 書道⇒音楽⇒3年生 七宝焼き実習⇒溶接実習⇒2年生 製図⇒家庭基礎
6. 生徒の様子について SSW 堀江先生より報告
4年前から本校を担当
「SSWの目的は生徒の最善の利益を考えて、学校を基盤として地域や家族を巻き込んで生徒の過ごしやすい環境を形成する。一昔前は貧困ヤングケアラーが問題だった。現在はそれに加えて、いじめ、不登校、虐待、ネグレクト、保護者の未熟さゆえの問題が多い。被害に遭ってしまった経験者は人とのコミュニケーションを取るのが難しく、人を怖がる傾向にある。藤井寺工科の先生は生徒に寄り添って生徒からの暴言(お話し行動と言い、どこまで自分に付き合ってくれるか)にも付き合って粘り強く関わって生徒に寄り添う姿が見受けられます。」

7. 協議

議長選出 井関委員

◎井関議長より

資料①より授業アンケートの経年変化は令和 2 年の上期より全項目が下降傾向なのは新型コロナウイルスの影響ですね？新型コロナウイルスへの感染を恐れて、学校へ行けない、集団生活する事への不安など、そういう事が反映されていますか？

⇒その通りです。学校へ行きたいのに安心して行くことが出来ない、学びの機会が奪われてしまった。状況が明るくなり、学校へ来て友達とつながりという事実がそこからの上昇傾向になっている。

◎井関議長より

スクールミッションそのものの意味を説明してほしい。

⇒学校の在り方、地域とのかかわり方を始め、生徒につけさせたい力や方向性、教育方針を明記するための物です。

◎重尾委員より

自分のやってみたい事や、可能性に気づくという観点ではこういう工業実習でいろんな事にチャレンジして気づきの機会や可能性が増えるのは良い事であると思う。

また、地域の将来を担う人材育成という目標に関しては、いろんな大人と触れ合う（先生）機会が大切だと思うので、SSW からもあったように教員が寄り添う姿勢というのは効果的だと思う。

◎佐藤委員より

修学旅行での民泊体験しかり、いろんな人間と係り、人間関係を築くトレーニングとなる機会があるのはもっと打ち出しても良いと思う

◎富委員より

中学校に通う事が難しかった我が子が、学校に通って、友達を作って、部活動をするようになった。あとは無事に卒業出来る事を祈っています。

8. 閉会の挨拶（准校長より）